

令和2年度 第2回河北町総合教育会議会議録

1 出欠席者氏名

河北町長 森谷 俊雄、河北町教育長 板坂 憲助

河北町教育委員 児玉 康子、木嶋 真一、丹野 正英、和田 茂樹

欠席者（0名）

2 事務局職員の職氏名

生涯学習課長 牧野 隆博

教育主幹(兼)指導主事 石山 勝巳、指導主事 秋葉 千絵

課長補佐(兼)管理係長 大泉 雅志

3 日 程

令和3年3月23日（火）午後2時55分 開会 河北町役場3階委員会室

1 開会

2 町長あいさつ

3 協議

(1) 中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」の概要について

(2) 小学校教科専科教員の配置による効果について

(3) 知徳体バランスのとれた児童生徒を育成する校種間連携について

(4) 部活動の任意加入制と放課後・休日活動の選択肢について

4 その他

5 閉会

1 開会

大泉課長補佐

定刻前ではありますが、皆さんお揃いですので、只今より、令和2年度 第2

回河北町総合教育会議を開催いたしたいと思います。はじめに町長のほうから挨拶をお願いしたいと思います。

2 町長あいさつ

森谷町長

1 時 30 分からの委員会のあとでということで、引き続き長時間にわたりましたお疲れのところ申し訳ございませんが、よろしくお願いします。まず私のほうからですが、コロナです。今日、防災無線で直接私の声で注意喚起を呼びかけさせていただきました。東京を中心に首都圏が 22 日で解除されましたが、いろいろ議論があった末の解除であって、まだまだ油断できない状況が続いております。一方で周りに目を転じますと、宮城県が非常事態宣言。昨日は、山形市が非常事態宣言ということで、これから年度末・年度初めにかけて人の出入りも予想される中で、県・山形市はもちろんですけど、仙台市とは至近距離の町ですし、山形市とも非常に近い町なので、危機感を持っているところです。学校は休みに入りましたが、何とか入学式が始まるまでには、宮城及び山形市の状況が少しでも落ち着くことを願っています。本日は、よろしくお願いします。

大泉課長補佐

それでは、協議に入らせていただきたいと思います。座長につきましては、町長のほうからお願いしたいと思います。

3 協議

森谷町長

盛りだくさんですが、ポイントを絞って説明していただければと思います。

はじめに、中央教育審議会の概要について、説明をお願いします。

石山主幹

1 月 26 日に、中央教育審議会の答申がでまして、今後の教育の方向性が示さ

れたところです。

令和の日本型教育ということですが、世界の中での日本がどんな教育をやっているかということですが、評価されている点というのが、「知・徳・体」一体で育てているところにあります。日本型教育というのは、学習指導のみならず、生徒指導などの面も含めて、児童生徒の状況を総合的に把握して、指導をしているところになります。この中身について実現したいものは、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の二点になります。「個別最適な学び」・「協働的な学び」とは、どういったものかといいますと、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識することと、あらゆる他者を価値のある存在として尊重するというのが大事だと言われています。「多様な人々と協働しながら」というところが協働的な学びですが、社会的変化を乗り越えて、豊かな人生を切り拓いて、持続可能な社会の創り手となることができるように力をつけていきましょう」というふうにしております。そのためには、いま新指導要領が出されておりまして、その着実な実施とICTがこれから普及してきますので、ツールを不可欠なものとして使っていきたいというように出されています。

それから、「増加する外国人児童生徒等への在り方について」とありますが、谷地南部小学校及び西里小学校に外国人の児童がおります。

令和の日本型学校教育を考えると、「急激な変化する時代」というところで、二つありまして、一点目が「Society5.0 時代」・「感染拡大など先行き不透明な予測困難な時代」があります。今後も、知・徳・体を一体で進めていきたいと思っております。二点目が、学校が再認識された役割があります。「学習機会と学力の保障」、「全人的な発達・成長の保障」、「身体的、精神的な健康の保障」になります。

また、課題としてはいくつかありまして、一点目が本来であれば家庭や地域でなすべきことが学校に委ねられることになってしまい、結果として教師が担う業務の範囲が拡大されて負担が増えています。二点目が子供たちの多様化ですが、特別支援を要する子供たちが増えています。三点目が生徒の学習意欲の低下というところでは、勉強した成果が何に現れるかということも、本町での課題でもあります。四点目の教師の長時間勤務については、一番長いのは中学校です。その次が谷地中部小学校になっています。職員の数が多いと生徒の人数にもよりますが、打ち合わせの時間が長い学校は、超過勤務が長いです。五点目にデジタルデバイスの低調とありますが、タブレット

が導入になりますので、職員の研修を組んでいるところです。それから、新型コロナウイルス感染症の感染防止策と学校教育の両立ですが、離任式を中止にした学校もあります。

つづきまして、「個別最適な学び」・「協働的な学び」とありますが、これから日本型教育を進めるにあたって、コミュニティスクールは欠かせないところであります。知・徳・体を一体的に育むためには、教師と子供、子供同士の関わり合い、自分の感覚や行為を通して理解する実習・実験、地域社会での体験活動など、様々な場面でリアルな体験を通じて学ぶことの重要性が、AI技術が高度に発達するSociety5.0時代にこそ一層高まるということです。それから、同一学年・学級はもとより、異学年間の学びや、ICTの活用による空間的・時間的制約を超えた他の学校の子供等との学び合いも大切になっていきます。

教師の姿については、子供一人一人の学びを最大限に引き出し、主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たしています。

4 ページの中に感染症や災害の発生等を乗り越えて学びを保証するというのが着目すべきところです。

5 ページにありますICTの活用ですが、使うことが目的になってしまいがちなので、ICTはあくまでも道具であるというところから、子供の学びが、どこに向かっているかということを外さずに使っていただきたいと思っているところです。

7 ページにあります9年間を見通した新時代の義務教育の在り方について、教科担任制について、本町では、小学校に加配がありまして、新年度から小学校の外国語として準備を進めているところです。

森谷町長

皆さんから、説明あった内容について確認したいこととかありましたらお願いします。

教科担任制については、令和4年度からですか。

石山主幹

「令和４年度を目途」とありますが、令和３年度に町で実施しようとしているのは、教員ではなく講師になります。

森谷町長

令和４年度以降に教科担任制を実施するのは、市町村教育委員会又は県教育委員会の判断になるのか。

石山主幹

現時点では、まだわかりません。

森谷町長

それでは、(2)小学校教科専科教員の配置による効果についてお願いします。

石山主幹

初めて来年度取り組もうとしている、小学校の英語専科は、中部小学校に配属になります。中部小学校の外国語活動と外国語は３年生以上ですが、そこをもつていただくほかに、残り五つの小学校の６年生の授業を持っていただくようになります。その上で中学校との接続をスムーズにしていきたいと思っています。

森谷町長

専科教員を導入した場合、科目によって先生が代わるのですか。

秋葉指導主事

いままでも校内ですが、技能教科以外でも教科担任制はとっています。

森谷町長

皆さんから何かありませんか。

児玉委員

この答申が出ても、実際には何が変わるのか。専科教員の配置とはいうものの、まだ配置にはならないということですが、いままでなかったかという、大きな学校では、配置しています。今後、どの程度、教科専科教員が配置なるのかなと思います。町として、どのように考えているかお聞きしたいです。

板坂教育長

町としては、学習・生活指導補助員を配置していますが、特別支援を要する子供に配置なっているところです。国や県からの加配を期待しているところです。

森谷町長

それでは、(3)知徳体バランスのとれた児童生徒を育成する校種間連携についてお願いします。

石山主幹

昨年、幼稚園の先生が小学校の授業を見に行き、小学校の先生が幼稚園の様子を見て、その後、幼稚園の先生と小学校の先生と一緒に研修会を行いました。

今後も、この活動はぜひ必要だとなったところです。できれば、中学校の先生が幼稚園を見に行ければと思っています。

それから、小中学校の連携の中で、実践交流を中学校に小中学校の先生が集まって話し合いをする場を今年計画しています。

森谷町長

皆さんからなにかございませんか。

和田委員

校種間連携というのは、先生同士の連携ということですか。子供たちの交流もあるといいと思うのですが。

石山主幹

目指すのは子供同士が、一緒になる場面が、ねらいを持って組めるようになればと思います。

森谷町長

それでは、(4)部活動の任意加入制と放課後・休日活動の選択肢についてお願いします。

石山主幹

子供たちが少なくなってきました、部活動が成り立たないところも出てきます。次の一年生が入ってきたので、大会に出場できるという状況もあります。

今後、もっと減っていけば、何もしなければ、何かの部を減らしていくことになると思います。現在、県内の学校については、全員加入制となっています。

森谷町長

皆さんからなにかございませんか。

児玉委員

専門性を持った指導者の減少もありますし、昔に比べると校外のクラブに加入する生徒も増えてきていますので、難しい問題だと思います。

4 その他

5 閉会

大泉課長補佐

これもちまして、令和2年度 第2回河北町総合教育会議を閉会いたします。

～午後4時43分